

胃内視鏡検査 説明書及び同意書

【食道・胃十二指腸内視鏡検査についての説明】

- 胃内視鏡検査は食道・胃・十二指腸の病気（炎症・腫瘍・ポリープ・癌等）を診断して、適切な治療方針を立てることが目的です。
- 検査の前に、消泡剤（白い液体で胃の中をきれいにします）を飲みます。
- 検査をしやすくするために、咽喉麻酔（キシロカインビスカス）を3～5分間咽喉に飲まずに溜めてから吐き出します。（場合によってはゆっくりと飲み込んでもらいます）
- 咽頭麻酔の後に場合によっては、スプレー状の麻酔（キシロカインスプレー）を追加することがあります。
- 検査をスムーズに行えるように、鎮静剤を使用することがあります。
- 内視鏡を口から挿入して、食道・胃・十二指腸を観察します。
必要な場合には、病変部より組織を採取して病理組織的検査により、病変部が良性か悪性かなどを診断します。
- 検査時間は10～15分程度です。
- 検査によって起こり得る症状として稀に
- 1・出血
 - 2・穿孔（突き抜けて孔があく）
 - 3・咽頭麻酔によるショック
- 等が上げられています。
- 万が一これらの症状が生じた場合には、最善と思われる処置を行います。
- コンタクトレンズを使用している方は眼鏡で来院して頂きます。
義歯をしている方、眼鏡の方は検査の時に外せるようにして頂きます。
- 朝食は食べないで来院してください。

内視鏡検査同意書

内視鏡検査の必要性・検査時に起こり得る症状等を理解しましたので、検査・治療・処置を受ける事に同意します。

(検査日) _____ 年 _____ 月 _____ 日

患者氏名 _____ 印

※ご本人が署名できない場合は、ご家族または代理人の方で大丈夫です。